

消しゴムころりん (3年)

役割音読で、場面や人物の様子を読み取ろう

●指導目標

- ◎役割音読をととして、場面の移り変わりや情景など、叙述をもとにしながら読むことができるようになる。
- ◎グループでの話し合いをととして、読み取った内容について、一人一人の感じ方に違いのあることに気づくことができるようになる。

●学習材について

『消しゴムころりん』は、3年生最初の国語学習として、場面や人物の様子を思い浮かべ、現実とファンタジーが違和感なく交差し、物語を読む楽しさを十分に味わわせてくれる生活童話である。この物語を全文暗記するくらい音読をさせたいと考え、役割音読をしてグループごとに発表させる。音読の工夫を話し合いながら、「さおり」が本当の自分の気持ちに気づいていく様子を、叙述に即して読み取らせていきたい。

●学習指導計画(全9時間)

展開・時	学習活動	留意点
第一次 ・ 6時間	○単元全体を見通して、学習の目あてを確かめる。『消しゴムころりん』を読み、初発の感想を書き、学習計画を立てる。	○題名からどんな物語か想像させてみる。「おむすびころりん」を連想する児童が多いと思われるので、題名の魅力にも気づかせる。 ・音読発表会をすることを知らせておく。
	○グループで話し合いをしながら、3色に分けて全文を視写する。(3・4時)	○さおりの行動やせりふは黒鉛筆、やもりの行動やせりふは赤、ゆきひろの行動やせりふは青と三色に分けて、グループで相談しながら全員に視写をさせる。
	○役割を決めて音読の練習をする。	○色分けした文に沿って、役割を決めて音読の練習をする。場面や人物の様子がよく伝わるように意見を出し合い、工夫させる。
	○グループごとに音読発表会をし、違いについて話し合う。	○各グループの音読はテープに録音し、音読テープ作りは全員にさせる。
第二次 ・ 3時間	○「音読テープを作る」「紙しばいを作る」「つぶやきノートを作る」の活動の中から一つを選び、学習計画を立てる。	○「音読テープ」班は、第一次とは違うメンバーや違う役割で挑戦させる。また、効果音や音楽なども工夫して入れさせる。 ○一緒に活動をととして、読み取り方には一人一人違いのあることに気づかせ、自分の考えをさらに深めさせていきたい。
	○同じ活動を選んだ友達と一緒に表現を工夫し、発表する。	○それぞれの発表のよさに気づかせる。

●本時の展開(本時3／9)

目標

さおり・やもり・ゆきひろの三人の行動をしっかりと読み分けて視写することができるようにする。
三人の行動やせりふから、それぞれの場面での様子や気持ちを豊かに想像することができるようにする。

●展開例

学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習の目あてを確認する。 さおり・やもり・ゆきひろの三色で全文を視写しよう	○登場人物を確認する。やもりについては、実際に見たことのない児童も多いと思われるので、写真を用意し、どんな生き物か確認する。 ・『消しゴムころりん』は、さおり・やもり・ゆきひろの三人の行動描写と。三人のせりふから成り立っている物語であることを押さえる。
2 グループごとに音読をする。 ・地の文 ・「 」会話文	○地の文と会話文に分けて、グループごとに音読させる。そのとき、だれが言った言葉なのか、しっかり押さえて読ませる。 ・声の大きさや話す速さ、声の調子などを考えて読ませるようにする。
3 三色を使って視写をする。 ・さおり……えんぴつ ・やもり……赤えんぴつ ・ゆきひろ……青えんぴつ ・「 」文や—(ダッシュ)の文は改行	
4 役割を決めて、書けたところまで音読する。 ・確認し合う。	
本時の評価 三つのそれぞれの色に分けて、ていねいに視写することができたか。 それぞれの場面の様子を豊かに想像することができたか。	

●本時の展開 (本時6／9)

目標

読み方を工夫して、グループごとに音読発表会ができるようにする。
各グループの音読の仕方を比べ、違いやそれぞれのよさに気づくことができるようにする。

●展開例

学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習の目あてを確認する。 音読発表会を楽しもう	○前時や休み時間を使って、各グループごとに練習してきた成果をしっかり出させるように、発表会の仕方やカードへの記入などについて確認させる。 ・よい聞き方についても指導しておく。
2 グループごとに発表会をする。 ・声の大きさ ・「 」文の読み方 ・工夫しているところ	○1グループは4～6人ぐらいで構成させる。1回の音読に10分以上はかかるので、会場を二カ所用意し、グループを二つに分けて同時に実施させる。 ○1グループの発表が終わったらすぐにカードに記入させる。 ○自分たちのグループについても記入させる。
・音読テープに録音する。	○司会者を決めて進行させるように準備しておき、教師はどちらの発表会にも聞きに行くようにする。 ・時間がとれれば発表会を2時間行い、全員で聞き合うようにする。 ○テープレコーダーを二台用意し、それぞれ音読テープ

	を作る。聞けなかったグループの音読は、第二次の活動の中分けて聞かせるようにする。 ・ビデオがあれば、顔の表情や様子がさらにわかるので、録画も考えたい。 ・練習の段階で、テープやビデオを使うと、自分たちの音読の反省ができ、さらに効果的である。
3 カードにまとめを書く。	○3～4分時間を取り、カードに自己評価と感想を書かせる。 ・4の活動の前に全体で集まるようにする。
4 感想を発表する。	○数人に発表させる。児童の気づかなかった工夫やよかった点を取り上げ、本時のまとめをする。
本時の評価 練習の成果を出して、しっかり音読発表会ができたか。 他のグループの音読を聞き、工夫やよさに気づくことができたか。	

『消しゴムころりん』音読発表会			
月 日 3の ()			
グループ	声の大きさ	読む速さ	グループのくふう・だれのどんな音読がよかったか。
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

発表会を終えて (自己ひょうか)	(思ったこと)
○意よくてきにれんしゅうした。 1 2 3 4 5 _____	
○役になってくふうして音読した。 1 2 3 4 5 _____	
○他のグループのくふうやよさに気づいた。 1 2 3 4 5 _____	